

喀痰検査の対象について

1 昨年度肺がん検診精度管理委員会での決定事項

喀痰検査の対象者は、指針に基づき、年齢 50 歳以上喫煙指数 600 以上とする。最近 6 か月以内に血痰があるものは喀痰検査の対象外とする。

平成 31 年 4 月から喀痰検査の対象者の変更を行う予定である。

2 血痰を認める方の肺がん検診の対応について

下記の指針に基づき、問診票で 6 か月以内に血痰があると回答した方は、肺がん検診の対象外とし、精密検査の実施を勧奨する。

・記載内容

がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針

質問の結果、最近 6 か月以内に血痰のあったことが判明したものに対しては、肺がんの有症状者である疑いがあることから、第一選択として、十分な安全管理のもとで多様な検査を実施できる医療機関への受診を勧奨する。

仕様書に明記すべき最低限の精度管理項目

最近 6 か月以内の血痰などの自覚症状のある場合は、検診ではなくすみやかに専門機関を受診し、精密検査を行うように勧める。

・対応策

- (1) 受診票の説明文に、対象が変更することと、血痰をみとめる場合は、専門機関での精密検査が必要な状態であり、肺がん検診の対象外となることを明記する。
- (2) 問診項目にて、血痰を認めると回答した方については、「すみやかに精密検査が必要と判断されますので、肺がん検診の対象外となります。」と記載する。

3 肺がん（個別検診）喀痰検査実施状況について

表 9 平成 27 年度～平成 30 年度（4～10 月）喀痰検査実施状況

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (4～10月)
肺がん検診(個別)受診者数		16,524	17,504	17,850	9,356
喀痰配布数		1,328	1,340	1,282	635
(再掲)指針外の 受診者数	40代	67	83	75	23
	血痰有のみ	52	63	73	33
喀痰回収数		1,238	1,246	1,279	635
回収率		93.2%	93.0%	99.8%	
喀痰細胞診 結果	異常なし	1,232	1,238	1,273	546
	6か月以内の要再検	4	6	4	2
	要精検	1	2	2	0
	ただちに要精検	0	0	0	0

表 10 血痰有のみ内訳

		平成29年度	平成30年度 (4~10月)
喀痰細胞診 結果	異常なし	72	32
	6か月以内の要再検	1	1
	要精検	0	0
	ただちに要精検	0	0

6か月以内の要再検内訳

	平成29年度	平成30年度
X-P判定	精検不要	要精検
精密検査結果	異常なし	その他(小結節)

- ・平成29年度では40代の喀痰容器配布者数は75名、また喫煙指数が600以下で、6か月以内の血痰有による容器配布者数は73名であった。
- ・指針に沿って対象を変更した場合、150名程度が対象外となる。
- ・血痰有のみの喀痰検査対象者のうち、6か月以内の要再検者が平成29年度、30年度ともに1名いた。要再検者の精検結果は、異常なしとその他であった。